

特定非営利活動法人YMC Aコミュニティサポート  
2010年度 事業方針・事業計画

◆事業方針

＜基本聖句＞わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。(マタイによる福音書25章40節)

私たちは、一人ひとりの人間性が尊ばれ、共に助け合って生きていく地域社会の実現を目指し、横須賀にあるNPOとして地域に根ざした市民活動支援を行います。特に、他のNPO・NPO支援団体との交流や研修への積極的な参加を通して、職員の意識の向上を図り、NPO法人の独自性のある事業の実現に力を注ぎます。

世界・全国・神奈川のYMC Aのネットワークを活かし、グローバルな視点で市民活動の支援を行い、国籍・障がいの違いや有無に関わらず、老若男女誰でもが市民活動に積極的に参加する機会をつくっていきます。特に、横須賀をはじめとする近隣YMC Aと連携を強め事業の発展に努めます。

◆事業計画

I 自主事業

1. 市民活動支援を積極的に展開していく

1) 市民活動団体支援

市民活動団体向けのマネジメント講座を開催する(年1回)

2) 人材育成事業

市民活動の担い手の育成として、市民活動やボランティアに参加しやすいきっかけの場を提供する。市民活動団体と積極的に関わる機会を提供し、その活動で得た知識や経験を発表する場を設ける。

- ①高校生・大学生を中心としたボランティアが、市民活動団体の活動を体験する機会を設ける。
- ②近隣の高校・大学への定期的な訪問を行い、ボランティア活動への参加を呼びかける。
- ③2月に開催される「のたろんフェア」で、学生ボランティアや団塊世代の活動発表の場を設ける。(年1回)
- ④横浜YMC Aのネットワークを活かし、高校生・大学生ボランティア国際理解・国際協力のイベントや講座を開催する。(年1回)

2. YMC Aコミュニティサポートの活動の周知を積極的に行う

- 1) 理事・職員が中心となり、YMC Aコミュニティサポートの活動を周知する機会を設ける。(「のたろんフェア」等)
- 2) YMC Aコミュニティサポートの活動目的・活動内容・会員募集の要件がわかるリーフレットを作成し、活動を周知するツールとして活用する。

3. YMC Aコミュニティサポートの事業の充実を図る

1) YMC Aコミュニティサポートへの理解を深める

YMC Aへの理解をさらに深めるとともに、YMC Aコミュニティサポートの使命についても理解を深め、他の人に伝えられるような研修を行う。

2) 事業の充実

会員がより良い相互理解を深めるために、YMC Aコミュニティサポートの運営や事業について話しあう機会を設ける。

## Ⅱ委託事業

### 1. 市民活動支援を積極的に展開していく

#### 1) 横須賀市立市民活動サポートセンターの運営

- ①地域のイベントでYMCAコミュニティサポートの活動の周知・市民活動サポートセンターの周知を積極的に展開する。また、地域のイベントへのボランティアや市民活動団体の参画を促進する。
- ②横須賀市立市民活動サポートセンター設立10周年記念事業での提案を活かし、よりよいサポートセンターの運営を行うため、市民活動団体が意見交換する機会を設ける。(6月、11月)
- ③1週間に1回の、FMラジオへの市民活動団体の出演コーディネートをおこなう。地域の情報紙や新聞に積極的にイベント情報などの掲載依頼を行う。また、サポートセンターのホームページから市民活動団体情報を閲覧できるよう改善し、市民活動団体の広報活動を促進する。

#### 2) 情報収集・発信

- ①市民活動サポートセンターに登録している市民活動団体のボランティア情報を集約し冊子にまとめる。(2010年3月アンケート実施、5月冊子発行)
- ②一般の人にNPO法人の活動を広く周知するため、横須賀市内のNPO法人の聞き取り調査を行い、横須賀市内のNPO法人の活動の実態を冊子にまとめる。(2010年、2011年調査実施、2012年冊子発行予定)
- ③若い世代の市民活動への参加を促進するため、横須賀市立市民活動サポートセンターのイベント情報やボランティア情報に特化した携帯電話サイトを立ち上げる。

#### 3) スタッフのスキルアップ

支援施設スタッフとしての必要な知識、人を迎える姿勢を身につけるため、内外の研修に積極的に参加をする。また、研修で得た知識を実践に活かすための振り返りを行う。